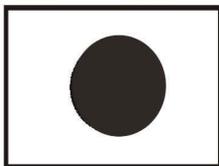


日中かわぐち

No. 51

2014年4月25日

ホームページ
www.k-jcfa.com



川口市日本中国友好協会
川口市上青木1-20-3
TEL 048-253-2177
発行責任者 栗原喜一郎

編集・制作 电脑倶楽部

礼を正す

理事長 栗原 喜一郎

時を守り

場を清め

礼を正す

教育哲学者、森信三先生の教育信条である。

埼玉県内の某小学校の校長室に掲げられてあった額には「礼を正す」が最初に書かれてあった。最初は間違えかと思つたが、後でこの額を掲示した当時の校長の考え方かと思うようになった。

「中国人は礼儀正しい」

「日本人は勤勉である」

とはケンブリッジから見た国民性であると藤原正彦著の『遙かなるケンブリッジより』で読んだ記憶である。高齢になつて、最初に車中で席を譲られたのは韓国の釜山であった。釜山空港で飛行機からバスに乗り換えた時、韓国人の中年の女性からだつた。それまで、

日本国内で車中で座席を譲つていただいた経験はなかつた。韓国人も推譲心の深い国民性かと考えた。その後、孫を連れて韓国を訪れた時、韓国女性にその話をしたら「最近はお変わつてきている」と話された。中国から私宛に毎年欠かさず年賀状を一通頂く。貴州省の李放鳴さんからである。彼が中国大使館領事部にいた頃からの交際が現在も続けられている。



東日本大震災の時、震災見舞いのメールを頂いたのは、さいたま市に住む中国人からである。川口市に住む私宛の見舞いはこの一通

だけであつた。

同じ東日本大震災があつた年、中国から川口市に来た鑄物技術実習生三十数名は、その歓迎会の席上、震災に見舞われた日本人を激励するため日本の歌を日本語で歌ってくれた。その歌は「北国の春」かと私なりに考えたが、「上を向いて歩こう」だつた。来日前練習したとのことだつた。

私の経験を拙く羅列したが、隣国と親善、友好を深めていくには「礼を正し」互いに推譲し合う心、相手を思いやる心が大切であるとの思いからである。「日本の文化文明、思想、宗教は中国から韓国を経てきたのだ」とは、小学生の時、歴史の授業で担任の先生から教えられた。

中国との友好親善を深め、進めていくには「礼を正す」「相手を優先して考える」「互いに推譲する心を持つ」ことが必要なかと考える昨今です。

第三十六期

修了式を終えて

入門Bクラス幹事

林 芳男

あつという間の一年でした。二月の謝恩会までは初級Bクラスへの繰り上げ希望者が五名と、クラスの成立も危ぶまれるほどで、他クラスの人に初級Bクラスへの移動をお願いしたりして、人数確保に慌てました。



皆ギリギリまで考えた結果最後に二名増えて初級Bクラスへの移動は七名となり、ひとまずホッとしました。

これも中国語学習を更にステップアップしたいという皆の熱意と、一年間一緒に学ん

だクラスのチームワークの表れと思います。



学習以外にも八月の「たら祭り」での餃子販売や、県の「中国語スピーチコンテスト」では個人や団体として参加、さらに中国映画祭の開催、十二月の教室合同忘年会ではクラスの合唱披露と、皆初めてのことで戸惑ったと思いますが、積極的に参加していた「スピーチコンテスト」では成果も上がりました。

本来開講式に出席した全員が修了式に参加するのが理想ですが、一年の間には、矢張り難しく授業についていけないと退室する人や、会社

家庭の事情でやむなく退室する人も現れて、残念なことに最終的には三分の一が退室していきました。

修了式は九名の人が修了証書を受領されました。

鮑先生や皆さん一年間ご苦勞様でした。



中国との関係は、開講式の時と比べても最悪の状態と言われている今、新たに九名の入達が中国語学習のステップアップを目指し継続します。

中国語教室には卒業がありませんので、新たな入達が中国語学習を通じて中国への理解を深めていただき、草の根交流の輪が大きく広がっていくことを願います。

埼玉県日中友好協会主催

丹羽宇一郎前中国大使

講演会レポート

理事長代行 加藤 展祐

まず中国の現況から説明があり、尖閣諸島、靖国参拝の問題、企業トップとしての活動、大使就任期間の経験談、人口、食糧、農業、教育問題、中国経済の影響、習近平政権との対応、外交など興味深いお話を聞かせて頂きました。

特に尖閣諸島問題では平成二十二年漁船衝突事件、翌年石原東京都知事の尖閣購入計画の発表があり、丹羽氏は実行されれば日中関係に極めて深刻な危機をもたらすと当時発表した。尖閣は私人が持つが国有化するという次元の問題ではなく「領土問題は存在しない」という日本の外交方針は国際社会から理解を得られなかった。靖国問題も同様である。

中国の経済は習近平体制の十年間、成長が続くし、「世界の工場」から「世界の消費

市場」へ、焦点は輸出から内需へと変わって行き、より高度の産業が成長して先進工業国型に変貌していく。しかしこれ以上の発展には公平、平等の原則の下で活動する体制が必要である。

また戸籍制度の改革も課題の一つである。革命後一貫して農村の犠牲の上に国力を高めてきた、農村戸籍である。人口の五分の一弱、約二億五千万の農民工は都市で無権利困窮状態にある。中国はこの状況を克服しなければならぬ。

丹羽氏は日米中の関係を確固たるものにするのが重要であると言う。日米同盟、米中協力関係が進んでいる中で、日中間の大きな課題は「嫌日」「嫌中」感情の克服である。歴史の語る日本軍の残虐性、抗日の歴史教育によって中国人の日中戦争の記憶は容易には去らない。

尖閣問題がある中、刺激的な発言や政治的発言など不必

要な挑発をしてはならない。

最後に教育について、科学技術の分野一つとっても青少年の育成は急務である。昨年米国ハーバード大学への留学生は日本人十一名、中国人五百八十名、韓国人百数十名のもようである。このような状況では将来の日本が危機を迎えることは明白である。GDPで中国は日本を抜き、世界第二位となった。経済的に中国が米国をしのぐ時がやってくる。日本は米国へ、中国へ世界に羽ばたく青少年育成に力を注ぐべきである。

そして丹羽氏の言葉、「孔子が言うように相手は自分の鏡」、日中首脳は両国関係を改善発展させるという情熱をもち、地方都市間、青少年、文化、芸術等幅広い分野で交流を続けることで両国関係が本当に強いものになっていくと締めくくられました。

二〇二四年度総会

新春懇親会

内野 繁子

平成二十六年総会が、二月十一日(祭日)川口駅東口の江南春で多数の会員出席のもと開催されました。初めに昨年末急逝された当協会前会長の岡村幸四郎前川口市長に黙とうをささげました。



昨年度事業報告・決算報告に続き今年度事業計画・予算案が承認され滞りなく総会を終了し、二十六年事業がスタートいたしました。

引き続き新春懇親会に移りました。



川口日中に初めてお越しいただいた駐日本国中国大使館公使・王曉渡女史、また新しく川口市長に就任された奥の木信夫市長をはじめ、王麟書記官、埼玉県日中友好協会田中寛会長、中国語講師の方々他、たくさんのご来賓にお越しいただき協会員とともに、にぎやかに盛大に友好の輪を広げることができました。

ご来賓の方々よりいただいた日中友好の応援のご祝辞はともありがたく草の根の友好活動に力強いエネルギーを補充してくれました。

第二十七期

入門クラス開講式

教養代表 本多 路子

四月一日（火）朝十時より協会事務所教室で第二十七期入門Aクラスは新受講生十名を迎え、先輩の激励を受けながら開講いたしました。



入門Aクラス開講式

四月五日（金）午後七時より栄町公民館で入門Bクラスは、第二十七期生十一名が呉英偉老師の担当により開講されました。先輩より激励の言葉を受けました。現在受講生は百一名となりました。



入門Bクラス開講式

我的家乡

齐鲁大地・山東

劉 会 積

我的家乡是山东，简称“鲁”，省会济南，古为齐鲁之地，别名齐鲁。位于华东沿海，黄河下游。截至二十三年，山东省的常住人口为九千九百多万人。下面从齐鲁文化绝美风景和美味饮食三个方面简单介绍一下文化圣地・山东。

一 齐鲁文化

齐鲁文化，确切地说，不是一种单一的文化，而是齐文

化和鲁文化的融合。春秋时期的鲁国，产生了以孔子为代表的儒家思想学说，而东临滨海的齐国却吸收了当地土著文化（东夷文化）并加以发展。两种古老文化存在差异，相对来说，齐文化尚功利，鲁文化重伦理；齐文化讲求革新，鲁文化尊重传统。两种文化在发展中逐渐有机地融合在一起，形成了具有丰富历史内涵的齐鲁文化。

齐鲁文化是先秦时期齐鲁国地盘对照至今山东而形成和发展的一种地域文化，包括道家文化、兵家文化、法家文化、墨家文化以及阴阳、纵横、方术、刑、名、农、医等。其中最核心是儒家文化。据当代作家田茂泉说，进入秦汉以后，齐鲁文化逐渐由地域文化演变为一种官方文化和主流文化。

儒家文化以儒家思想为指导的文化流派。儒家学说为春秋时期孔丘所创，倡导血亲人伦、现世事功、修身存养、道德理性，其中心思想是孝、悌、忠、信、礼、义、廉、耻，其核心是“仁”。儒家学说经历

代统治者的推崇，以及孔子后学的发展和传承，使其对中国文化的发展起了决定性的作用，在中国文化的深层观念中，无不打着儒家思想的烙印。

二 绝美风景

1 三孔

曲阜的孔府、孔庙、孔林，统称“三孔”，是中国历代纪念孔子，推崇儒学的象征，以丰厚的文化积淀、悠久历史、宏大规模、丰富文物珍藏，以及科学艺术价值而著称。另外，文学史上，也有“三孔”之说。



孔林にて

2 天下第一泉风景区

天下第一泉风景区，位于山东省济南市市中心，由

「一河（护城河）一湖（大明湖）三泉（趵突泉、黑虎泉、五龙潭三大泉群）四园（趵突泉公园、环城公园、五龙潭公园、大明湖风景名胜區）」組成、是独特的自然山水景观和深厚的历史文化底蕴于一体的旅游景区。

3 五岳之尊・泰山

泰山 (Mount Tai)、是世界文化遗产和世界自然遗产、



地质公园，中国AAAAA级旅游景区，首批全国文明风景旅游示范区。它位于山东省泰安市中部，是中外闻名的游览胜地。其主峰玉皇顶海拔一千五百四十五米，气势磅礴，雄伟壮观，有「五岳之首」、

「天下第一山」的之称。

三 美味飲食

魯菜是中国飲食文化的的重要组成部分，中国八大菜系之一，以其味鮮咸脆嫩，風味獨特，制作精細享譽海內外。魯菜選料考究，刀工精細，技法全面，調味平和，菜品種多，對火候的要求尤為苛刻嚴格，強調鮮脆嫩的成菜效果。

代表菜有：鍋貼、灌湯包、肉末海參、香酥雞、一品壽桃、翡翠蝦環等。

看完這些，您是不是想要來山東看看美景，尝尝美食呢？好客山東人歡迎您的到來！

わがふるさと

齊魯大地・山東

劉 会積

日本語訳 木曜夜クラス

私の故郷は山東省、略称は魯、省都は済南です。古代の齊魯の土地にあるので、別名を齊魯と言います。華東の沿

岸部に位置していて、黄河の下流になります。二〇一三年時点、山東省の人口は九千九百万人を超えています。これから齊魯文化、素晴らしい風景、美味しい料理、この三方面から簡単に文化の聖地・山東を紹介しましょう。

一 齊魯文化

齊魯文化は正確にいうと単一の文化ではなく齊文化と魯文化が融合してきたものである。春秋時代、魯国は孔子を代表とした儒教思想の学説を生みだし、一方、東の海岸に面した齊国は原住民の東夷文化を吸収し、ともに発展してきた。この二つの古い文化は異なっていて、齊文化は実利を重んじ、魯文化は倫理に重きを置いた。齊文化は革新を求め、魯文化は伝統を大事にした。この二つの文化は発展しながら次第に溶け合い一つにまとまっていき、豊富な歴史を内包した齊魯文化がつけられていった。

齊魯文化は秦の時代の齊魯

の地盤と今の山東と合わせて形成され、発展した一種の地域文化であり、道家文化、兵家文化、法家文化、墨家文化さらに陰陽、縦横、方術、刑名、農業、医療などが含まれる。しかしその中心は儒教文化である。現代の作家田茂泉氏によれば、秦漢時代に入ってから、齊魯文化はだんだんと地域文化から官僚文化と主流文化へ変化していったという。

儒教文化は儒家思想を指導的となす文化流派である。儒教の学説は春秋時代に孔丘（孔子）によって始められ、血縁を大事にする、現世で業績を上げる、修養を積み精神を養う、道徳を重んじ理性を保つ、その中心的思想は孝・悌・忠・信・礼・儀・廉・恥であり、その中核を形成するのは「仁」である。儒教の学説は歴代の統治者に尊重され、さらに孔子の後学の発展と伝承により、中国文化の発展の決定に大きく作用し、中国の文化的観念の奥深く、儒

家の思想が焼き付けられている。

二 素晴らしい風景

1 三孔

曲阜の孔府（孔子邸）、孔廟（孔子廟）、孔林（孔子墓）を総称して「三孔」という。

孔子ゆかりの中国の歴史記念建造物である。儒学の表徴として評価され、豊富な文化を蓄積し、悠久の歴史、スケールの大きさ、豊富な希少価値の文化財、さらに科学芸術的な価値により名高い。そのほか、文学史上でも「三孔」の説がある。

2 天下第一泉風景区

天下第一泉風景区は山東省済南市の市の中心地にあり、一河（護城河）、一湖（大明湖）、三泉（趵突泉、黑虎泉、五龍潭の三大泉群）、四公園（趵突泉公園、環城公園、五龍潭公園、大明湖風景名勝地）から成っている。独特な自然山水景観と深い歴史文化遺産を兼ね備えた質の高い観光地である。

3 五岳で最も尊い「泰山」

泰山は世界文化遺産と世界自然遺産に登録されている。地質公園でもあり、中国AAA級級の観光地として、第一回全国文明風景区の模範地点に指定された。山東省泰安市の中部に位置し、国内外に有名な景勝地である。その主峰、玉皇の頂上は標高一五四五メートルで、迫力満点、壯観で「五岳で一番」とか「天下第一山」と呼ばれている。

三 美味しい料理

魯菜（山東料理）は中国の食事文化で重要な部分を占め、中国八大料理のひとつであり、彩りが鮮やか、塩辛く、歯触りがよく、味は独特で、つくりは繊細であり、国の内外で好評を得ている。山東料理は材料にこだわり、包丁さばきが細かく、技法もあらゆる角度からされ、味付けは淡泊、品数が豊富、火加減に対する条件はとりわけ厳格で、塩辛さと柔らかいおかずを強調している。

代表的な料理には、焼き餃子、灌湯バオズ、ひき肉とナマコ、鶏の唐揚げ、最高級慶事用桃型饅頭、きゅうりと蝦炒め、などがある。

この文を読んで、山東に行き、美しい風景を見て、美味しい料理を味わいたいと思いませんか。おもてなし上手な山東の人は皆様をお待ちしています。

六月十五日

第三十六号

「にいはお」発行

市東 文字

今年度は入門クラスの昼間・夜間コースが開講され、二十一名の新受講生を迎えました。入門生が張り切って寄稿してくださることを多に期待しています。

四月三日（木）の二十一時より「にいはお」第一回編集会議を前田・内野・本多・田村・市東の五名で行い、スケジュールを立てました。

第二十回

協会・教室懇親会

幹事 前田 稔夫

日時 九月二十七日

九月二十八日

場所 熱川シーサイドホテル
会費 一万五千元

協会助成金あり

熱川バナナ鱒園、MOA美術館などを巡ります。一回目同様ビンゴあり、飲み放題の一泊温泉旅行です。

六月より募集開始して、三十名で閉め切ります。

編集後記

各行事担当の方々、お忙しいなかご寄稿いただき、誠にありがとうございます。四月からの消費税率アップに伴い、便乗値上げも重なって、物価高を感じる春ですが、生活の質を下げずに暮らす工夫をしていかねばなりません。